

平成 30 年度一般社団法人日本家政学会中部支部第 2 回役員会議事録

日 時：平成 30 年 9 月 1 日(土) 15：30～17:00

場 所：名古屋文理大学 北館 2 階 栄養教育実習室

出席者：岸本満、三輪聖子、東珠実、西田淑男、森山三千江、石川豊美、久保和弘、磯部由香、和泉秀彦、平林由香、辻美智子、以上 11 名（敬称略）

欠席者：古寺浩、水嶋丸美、山岸雅子、中橋美幸、小林恭一、藤岡由美子

記 録：辻美智子

議 事：

I. 報告事項

1. 第 63 回（平成 30 年度）支部大会報告

石川実行委員長から、本大会における発表は口頭 6 件、ポスター 8 件との報告があり、協力に対するお礼が述べられた。参加者数は、会員 39 名、非会員 14 名（一般 4 名、学生 10 名）であった。

岸本支部長より、支部大会の参加者の名簿、報告書を 1 カ月以内に提出するよう、事後処理についての確認がなされた。

2. その他

西田幹事より、総会資料の会計報告の内容について再確認し、正式な内容は中部支部ホームページに掲載すると報告された。

II. 協議事項

1. 平成 30 年度中部支部大会発表奨励賞について

三輪選考委員長より、口頭発表及びポスター発表からエントリーがあったことが報告され、審査の結果、O-2 を奨励賞とすることが提案され、承認された。

その結果、中部支部大会は発表奨励賞を辻美智子先氏（名古屋女子大学）の「アマランサス粉を主原料としたグルテンフリーパンの製パン性」の発表を奨励賞として表彰することが決定した。

2. 若手の会（中部支部共催）2018 年度スキルアップ講習会・交流会について

岸本支部長より、当初は支部活動活性化サポートに申請する予定であったが不備があり、第二期活動助成に申請したとの報告があった。第二期活動助成申請の条件に基づき、新たに学会員の講師として岸本満支部長を加え、参加募集は学会員のほか、非学会員も対象とする旨の確認がなされた。また、辻若手の会代表より、資料 1 に基づいて講習会運営の詳細説明がなされ、承認された。

3. 平成 30 年度家政学関連院生・学生研究発表会について

西田幹事より、資料 2 に基づいて説明があり、会員への告知はメーリングリストを通じて、開催校の幹事が行うことが承認された。また、発表者全員が審査の対象となるため、発表会場の教室は 1 つで実施することが確認された。

4. 第64回（平成31年度）支部大会について

岸本支部長より、次年度の支部大会開催校は三重県が担当であるが、会員数が少ないために、三重県と岐阜県の合同で開催することが報告された。大藪千穂実行委員長のものと、岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催することが承認された。開催内容は、今までの開催趣旨を反映しながら、開催校の事情に合わせて一任することとした。また、H32年度以降の大会は、順番をひとつ繰り上げて実施することが承認された(表1参照)。

表1. 中部支部大会および院生・学生研究発表会の開催予定について

開催年度	支部大会	院生・学生研究発表会
H27年度(2015年度)	椋山女学園大学(済)	愛知学泉大学(済)
H28年度(2016年度)	名古屋学芸大学(済)	椋山女学園大学(済)
H29年度(2017年度)	北陸・長野地区(仁愛大学)(済)	名古屋学芸大学(済)
H30年度(2018年度)	名古屋文理大学(済)	愛知その他(東海学園大学)
H31年度(2019年度)	三重県・岐阜県(岐阜大学)	名古屋文理大学
H32年度(2020年度)	名古屋女子大学	三重県・岐阜県
H33年度(2021年度)	愛知その他	名古屋女子大学
H34年度(2022年度)	椋山女学園大学	愛知その他
H35年度(2023年度)	愛知学泉大学	椋山女学園大学
H36年度(2024年度)	金城学院大学	愛知学泉大学
H37年度(2025年度)		金城学院大学
H38年度(2026年度)		

5. その他

(1) メーリングリストの整備について

岸本支部長より、メーリングリストのファイルが5つ存在することが報告され、今後は岸本支部長、石川幹事とともにメーリングリストを整備していくことで承認された。現在は業者にメーリングリスト及びホームページの管理を任せているが、メーリングリストについては一度データを返却してもらい、名簿を精査していくことが確認された。

(2) 中部支部大会、院生・学生発表会の開催方法について

和泉幹事より、近年、中部支部大会、院生・学生発表会での発表者数が少ないという現状から、将来的に統合する等の検討をしていく必要性が提言され、今後検討していくことが確認された。

以上